

## 小学生の子供がいる保護者 1000 人に聞く「子供の安全に関する調査」

小学生の子供がいる親の9割が、子供の安全に「不安を感じる」と回答  
安全対策 親は「子供自身に注意事項を教える」、学校側は「防犯ブザーを持たせる」がトップ  
「行政・学校・地域社会・保護者」四者一体となつての子供の安全対策が望まれる

2005年12月21日  
株式会社マクロミル  
(証券コード:東証一部 3730)

株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:福羽泰紀)は、小学生の子供がいる全国の保護者(20歳以上男女)を対象に、「子供の安全に関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2005年12月14日(水)~12月15日(木)、有効回答数は1038名から得られました。

### 【調査結果概要】

#### 【1】小学生の子供がいる親の9割が、子供の安全に「不安を感じる」と回答

小学生の子供がいる親を対象に、子供の安全に不安を感じることもあるか尋ねたところ、93%が「不安を感じる(非常に不安を感じる+やや不安を感じる)」と回答しました。また、不安を感じることは「不審者による犯罪」が95%でトップ、子供が危険な目に遭いそうな場所は「登下校時」が86%と最も高い結果となりました。

また、子供の安全を脅かす事件が増えている背景には何があるか自由回答形式で尋ねたところ、「インターネットによる情報の氾濫」「地域コミュニケーションの希薄化」「テレビ番組やゲームでの暴力的シーンの氾濫」「家庭環境の崩壊」「不審者を取り締まる法整備の不徹底」というキーワードが多く挙げられました。

#### 【2】安全対策 親は「子供自身に注意事項を教える」小学校は「防犯ブザーを持たせる」がトップ

子供への安全対策として家庭で実施していることを尋ねたところ、1位は「(知らない人についていかななど)注意事項を話して聞かせる」(76%)、2位「子供の外出先を必ず把握する」(69%)、3位「防犯ブザーを持たせる」(60%)となりました。

また、子供が通っている小学校が講じている安全対策を尋ねたところ、1位は「防犯ブザーを持たせる」(51%)、次いで2位「不審者情報の共有」(45%)、3位「教職員・保護者による地域パトロール」(43%)という結果になりました。

家庭では子供自身で防衛できる術を教え、学校では防犯ブザーなど子供の自衛手段を講じながら、大人同士横のつながりを活かし子供を守る方法を探っているようです。

#### 【3】子供の安全について「地域社会・保護者(PTA)・行政・学校」四者一体の対応が望まれる

子供の安全対策は誰(どこ)がリードしながら取り組む内容かと思うか尋ねたところ、「地域社会」(66%)、「保護者(PTA)」(61%)、「行政」(60%)、「学校」(59%)の4つがほぼ同率に並ぶ結果となりました。

子供の安全に関する対策として、「家庭の教育力がかなり落ちてきているので、家庭での教育を支援するような法律が必要」(42歳・男性・岩手県)、「子供自身に防犯の注意点を理解させ、あとは常日頃の保護者、学校、地域の人達が目を光らせて子供たちを守ることが一番」(34歳・女性・埼玉県)、「行政はスクールバスなどの設置、地域社会では高齢者などによる登下校時の監視、親も協力し合つての送り迎えなど守る側の整備が必要」(49歳・女性・大阪府)といった意見があがりました。

家庭内だけで子供を守ることに限界を感じている保護者がいる一方で、学校や行政だけに任せておけないと感じている保護者も多く、「地域社会・保護者(PTA)・行政・学校」四者一体の対応が望まれています。

# 「子供の安全に関する調査」

## 【調査結果詳細】

### ■調査概要

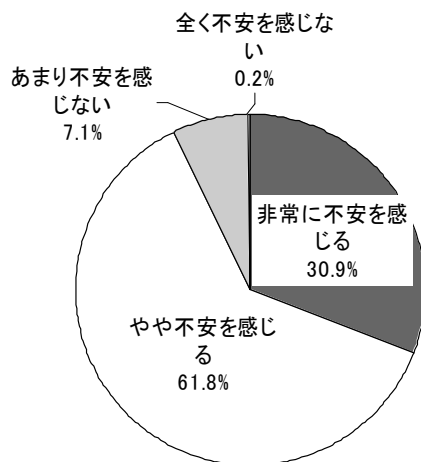
調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国
調査対象:	小学生の子供がいる親 20歳以上のマクロミルモニタ会員の男女
有効回答数:	計 1038 サンプル
	下記の通り均等割付、回収 ※子供が複数いる場合は、一番下(末子)の子供について回答
	男児(小学1~3年生) 260 サンプル
	男児(小学4~6年生) 261 サンプル
	女児(小学1~3年生) 259 サンプル
女児(小学4~6年生) 258 サンプル	
調査日時:	2005年12月14日(水)~12月15日(木)
調査機関:	株式会社マクロミル

### ■子供の安全に不安を感じる 93%

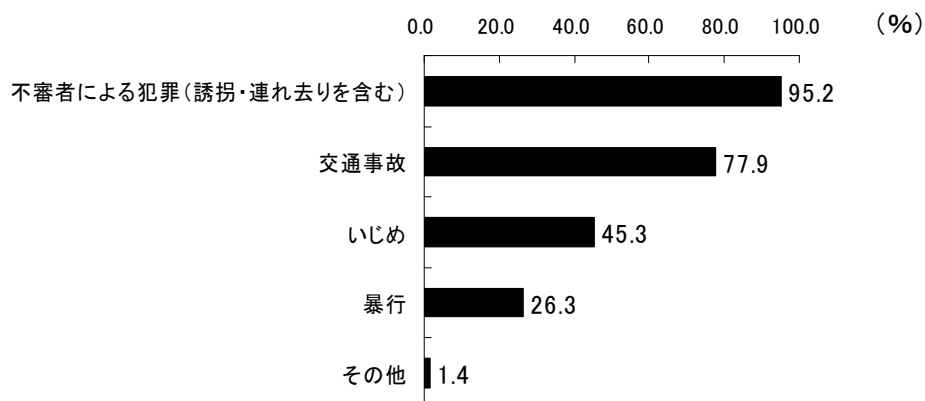
子供の安全について不安を感じること 1位は「不審者による犯罪」95%

小学生の子供がいる親を対象に、子供の安全に不安を感じるかどうか尋ねたところ、93%が「不安を感じる(非常に不安を感じる+やや不安を感じる)」と回答しました。また、不安を感じることは「不審者による犯罪」が95%と最も高い結果となりました。

Q. あなたはお子様の安全に不安を感じることがありますか？(単一回答)  
全員(n=1038)



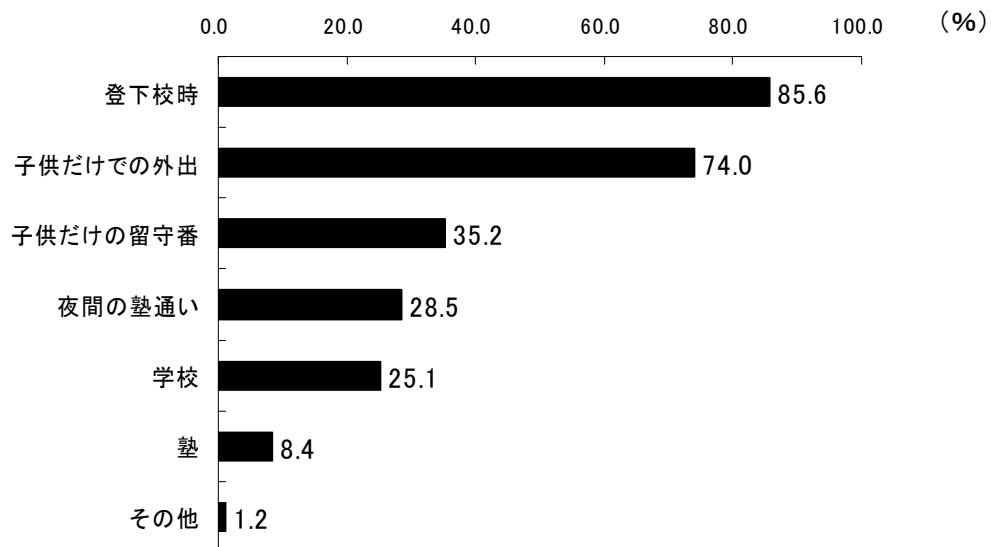
Q. 自宅外でのお子様の安全について、不安を感じるのはどのようなことですか？(複数回答)  
子供の安全に不安を感じると回答した人(n=962)



## ■子供が危険な目に遭いそうな場所 トップは「登下校時」 86%

子供が危険な目に遭いそうな場所を尋ねたところ、トップは「登下校時」(86%)、次いで「子供だけでの外出時」(74%)、「子供だけでの留守番」(35%)という結果になりました。

Q. 子供が危険な目に遭いそうな場面はどこだと思いますか？(複数回答)  
全員(n=1038)



## ■保護者が考える、子供の安全を脅かす事件が増える背景

また、子供の安全を脅かす事件が増えている背景に何があると思うかを自由回答形式で尋ねたところ、「インターネットによる情報の氾濫」「地域コミュニケーションの希薄化」「テレビ番組やゲームでの暴力的シーンの氾濫」「家庭環境の崩壊」「不審者を取り締まる法整備の不徹底」というキーワードが多く挙げられました。

Q. 子供の安全を脅かす事件が増えている背景となるものは何だと思いますか？（自由回答抜粋）

インターネットによる情報の氾濫	性別	年齢	居住エリア
・インターネットなどの発達により、特異嗜好の情報の氾濫が一般化し、そういった人間形成を助長しているのではないだろうか。また、その手の犯罪がひとつまたひとつと起こることによって、 残虐卑劣な犯罪に麻痺し、さらにエスカレートしていつているのではないだろうか。	女性	40歳	静岡県
・学校教育をゆとりあるものに変えていく必要がある。インターネットの普及により、性に対する間違った画像等が氾濫している。	男性	42歳	広島県
・豊か過ぎる世の中と、インターネットなどの情報過多によるものが大きい。	女性	43歳	石川県
・インターネットの普及による変質者の増加。昔は、マイナーな存在で自分の変質的趣味を恥だと思う傾向にあったのが、ネット上で趣味を共有する人の存在を知り、仲間意識を抱き、堂々とするようになった。 また、ネット上で趣味を探求する事が可能になり、エスカレートして行ってしまう。	女性	43歳	神奈川県
地域コミュニケーションの希薄化	性別	年齢	居住エリア
・昔の様な地域社会の信仰が無い為、何処に誰が住んでいるかも判らない。	男性	39歳	埼玉県
・地域ネットワークがないか、弱い。他人に対する無関心、個人主義の偏頗な教育で、個々人の協力体制が構築できていない。グループ登下校や不審者情報の共有の徹底がない。 屋間の警察のパトロールを頻繁にすることも必要だろう。	男性	47歳	東京都
・昔と違って地域での関係が薄いと思う。もっと近所の人やお年寄りや子供達が顔見知りになるようにしないとイケない。プライバシーが守られ過ぎて、事件が起こっても、情報などがはいらず、 手遅れになるのではないかと思います。	女性	39歳	埼玉県
・社会、人の変化。昔はこんな事はなかったと言う事が多過ぎると思います。昔は隣近所や地域で子供達を見守っていたけれど、今は個人主義であり周りに関わろうとしない人が多くなった。	女性	38歳	福岡県
テレビ番組やゲームでの暴力的シーンの氾濫	性別	年齢	居住エリア
・ゲームで簡単に人を殺すゲームなどが氾濫している。家にこもりがちになり、人との付き合いが苦手になり (特に、おとなの女性との付き合い)、小さな子供なら、と手をかけてしまうのでは。	男性	41歳	兵庫県
・テレビ番組・ゲームなどの犯罪の対する情報が簡単に手に入ることが興味本位で簡単に犯罪へと 導いていくような気がする。	男性	43歳	大阪府
・この世の中は、とにかく人を殺すことが簡単に Roweれてしまい、命の大切さがかなり失われていると思います。 ゲーム感覚で人を殺してしまっているようなこの世の中が連鎖反応を起こしてしまっているような気がしてなりません。	女性	34歳	埼玉県
・テレビゲーム世代が大人になったから、命の尊さがいまいち理解できていないような気がする。	女性	36歳	兵庫県
・ゲームなどの影響か？空想の世界と現実の区別のつかない大人が増えているのではないかと思います。 今の子どももゲームが大好き、外で遊ぶ子供が少ない、内向的で人との付き合い方もうまく出来ない様な人間になってしまうのでは。 かといって親も危ないからと言って外には出さなくなる、そんな悪循環的なことが背景にあるのではないのでしょうか。	女性	41歳	広島県
家庭環境の崩壊	性別	年齢	居住エリア
・家庭の子供に対する教育方法を間違えている。叱らない親が増えている為、悪い事をしたという実感が 無い人間が増えていると思います。	男性	43歳	北海道
・共働きなどの家庭における会話がないうなど	女性	35歳	東京都
・道徳倫理観の欠如した人間の増加。その人間ができるのは家庭の問題。	女性	37歳	神奈川県
・家庭のしつけ(厳しいしつけだけでなく、甘えさすとかも含む)がなっていない。子どもは親をみて育つ。 まともな家庭で育った子は悲惨な事件は起こさない。	女性	46歳	大阪府
不審者を取り締まる法整備の不徹底	性別	年齢	居住エリア
・特に性犯罪者に対する行政の対応の甘さ。	男性	43歳	東京都
・刑法の処罰が緩すぎる(未成年を含めての)	男性	47歳	長野県
・誘拐や未遂事件などに関する刑が軽すぎる事。前科がある危険な人間が平気で野放しになっているなど、 この国の情勢が悪い。 見せしめが絶対に必要。気軽に犯罪ができる国にしているのは、行政が全て悪い。早急に法を見直すべき！	女性	38歳	茨城県
・性犯罪者の刑が軽すぎる。性犯罪者は繰り返すことが多いと聞かすが、それを完全に直してから、 矯正してから出所させる事をしていないため。 海外のように性犯罪者の出所後の情報が地域にながれないため、近くに性犯罪者がいても対策がとれない、 わからない。	女性	42歳	神奈川県

■親が行う子供の安全対策 トップは「防犯対策の注意事項を話して聞かせる」76%  
 学校側が講じている対策 トップは「防犯ブザーを持たせる」51%

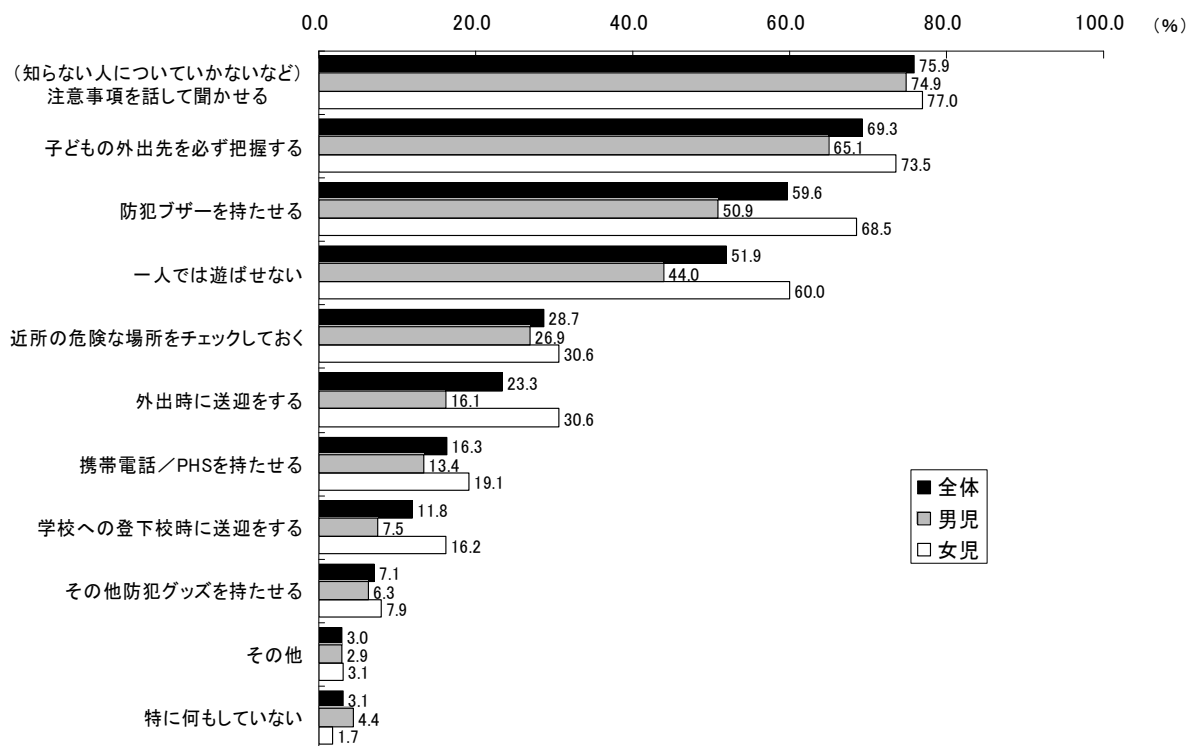
子供への安全対策としてどのようなことを実施しているか尋ねたところ、親が行っていることの1位は「(知らない人についていけないなど)注意事項を話して聞かせる」(76%)、次いで2位「子供の外出先を必ず把握する」(69%)、3位「防犯ブザーを持たせる」(60%)となりました。

また、子供が通っている小学校が講じている安全対策を尋ねたところ、1位は「防犯ブザーを持たせる」(51%)、次いで2位「不審者情報の共有」(45%)、3位「教職員・保護者による地域パトロール」(43%)という結果になりました。安全対策として、家庭では子供自身で防衛できる術を教え、学校では防犯ブザーなど子供の自衛手段を講じながら、大人同士横のつながりを活かして子供を守る方法を探っているようです。

また特に女兒がいる親は男児がいる親に比べて、「1人で遊ばせない」「外出時に送迎をする」など子供を1人にさせないよう、より注意深く行動している様子が窺えます。

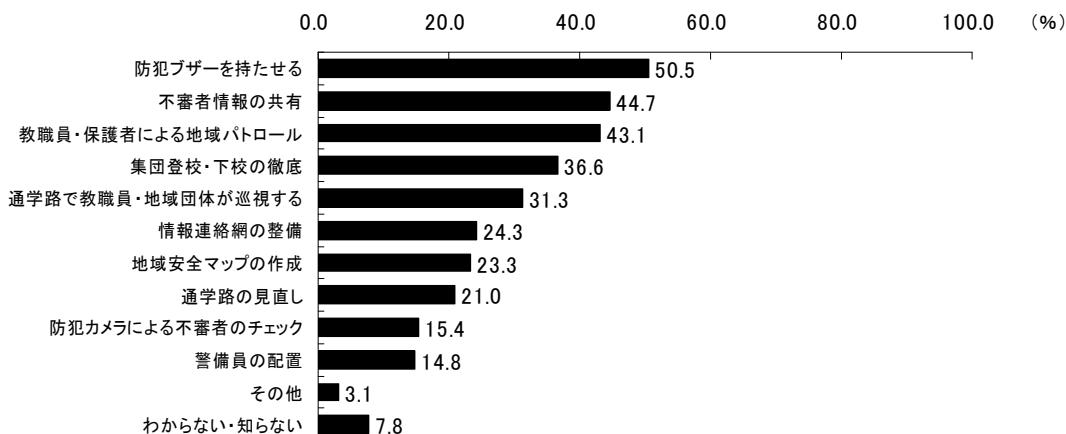
親が行っている安全対策

Q. お子様の安全対策として、あなたは小学生のお子様にどのようなことを実施していますか？(複数回答)  
 全員(n=1038)



小学校が講じている安全対策

Q. お子様に通っている小学校が講じているお子様への安全対策はどのようなことですか？(複数回答)  
 全員(n=1038)



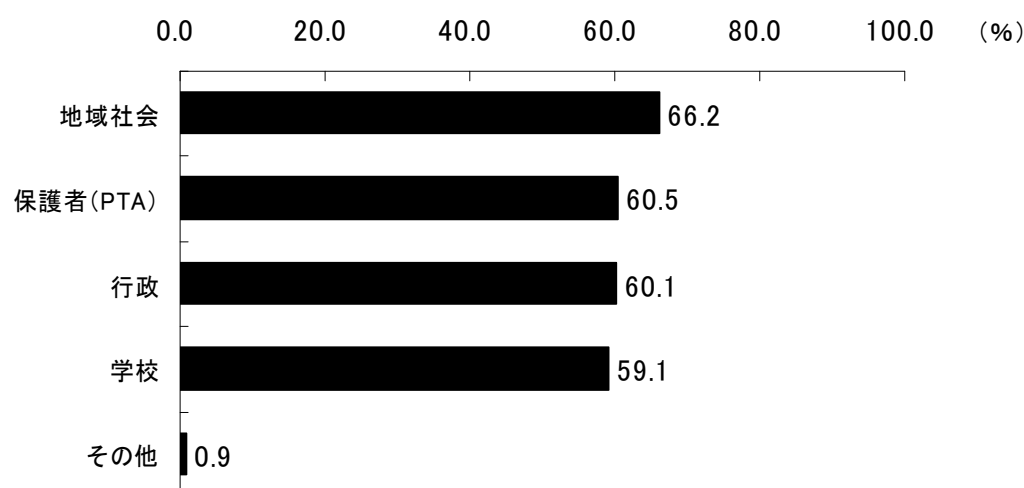
## ■子供の安全対策「行政・学校・地域社会・保護者(PTA)」四者一体の対応が望まれる

子供の安全対策は誰(どこ)がリードしながら取り組む内容だと思うか尋ねたところ、「地域社会」(66%)、「保護者(PTA)」(61%)、「行政」(60%)、「学校」(59%)の4つがほぼ同率に並ぶ結果となりました。

子供の安全に関する対策方法として「家庭の教育力がかなり落ちてきていると思うので、家庭での教育を支援するような法律が必要」(42歳・男性・岩手県)、「子供自身に防犯の注意点を理解させ、あとは常日頃の保護者、学校、地域の人達が目を光らせて子供たちを守ることが一番」(34歳・女性・埼玉県)、「行政はスクールバスなどの設置、地域社会では高齢者などによる登下校時の監視、親も協力し合って送り迎えなど、守る側の整備が必要」(49歳・女性・大阪府)といった意見があがりました。

家庭内だけで子供を守ることに限界を感じている保護者がいる一方で、学校や行政だけに任せておけないと感じている保護者も多く、「地域社会・保護者(PTA)・行政・学校」四者一体となつての対応が望まれています。

Q. 子供の安全対策は誰(どこ)がリードしながら取り組む内容だと思いますか？(複数回答)  
 全員(n=1038)



Q. 子供の安全に関する対策方法やご意見など自由にご記入ください。(自由回答抜粋)

子供の安全に関する対策方法やご意見	性別	年齢	居住エリア
・行政が中心となり、地域住民が一丸となって防衛に取り組んでいく。	男性	44歳	愛媛県
・家庭の教育力がかなり落ちてきていると思うので、家庭での教育を支援するような法律が必要。 そのような人間を出さないように、地域の中での関係を密にしていかなければならない	男性	42歳	岩手県
・京都府宇治市の学習塾少女殺人事件のようなことまで起こってしまうと、子供の親としたら、子供を1人にするこゝろ不安に思うようになってしまう。子供は外で元気に遊べるような環境をどうやって整えてあげるのか、社会も保護者も真剣に考えなければ。今のままではますます近所付き合いもできず、各家庭が孤立し、人間関係に悩む犯罪者予備軍が増加する一方だと思う。	男性	41歳	奈良県
・子供自身に防犯の注意点を理解させ、あとは常日頃の保護者、学校、地域の人達が目を光らせて子供たちを守ることが一番。	女性	34歳	埼玉県
・地域ぐるみで取り込まないと、家庭や学校だけでは限界がある。小さい事件から芽をつぶして、犯罪を起こさせないような地域社会を作る。	女性	34歳	大阪府
・保護者だけががんばっても限界はあるし、学校も地域社会も同じことだと思う。 やっぱり、警察が絶対力をもって「こういうことをすると、こういう目にあう」と言った図式が必要になっていると思う。 たとえば、痴漢行為とか刑罰が軽いからついやってしまうのではないかな。やられたほうは一生嫌な記憶が残るのに、「つい」で許されるのだろうか。正しい男性がそう思ってくれて罰則が変わってこないだろうかと思う。	女性	41歳	愛知県
・行政はスクールバスなどの設置、地域社会では高齢者などによる登下校時の監視、親も協力し合つての送り迎えなど守る側の整備が必要。	女性	49歳	大阪府
・行政・地域・保護者・学校が一段と意識を高め子供の精神面で不安を与えない対策についてじっくり考えないといけないし、また、その対策によって子供の精神的な成長を歪ませることがあってはいけないと感じる。	女性	43歳	神奈川県

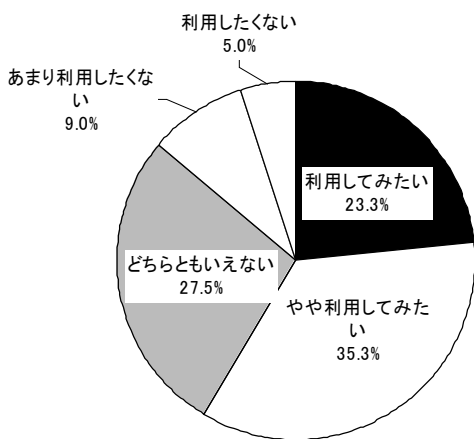
- 今後利用してみたい防犯対策やサービス
  - 「ICタグによる子供の登下校情報配信サービス」 64%
  - 「GPS 機能付き携帯電話」 59%
  - 「GPS 機能付きランドセル(かばん)」 45%

相次ぐ児童殺傷事件などを受けて、ハイテク技術を利用した防犯対策グッズやサービスが注目されています。そのような最新防犯対策グッズやサービスを利用してみたいかどうか保護者に尋ねました。その結果、「IC タグを使って子供の登下校情報などを保護者の携帯電話などにメールで配信するサービス」を利用してみたい(利用してみたい+やや利用してみたい)という回答は 64%、「GPS 機能付き携帯電話」59%、「GPS 機能付きランドセル(かばん)」45%という結果となりました。

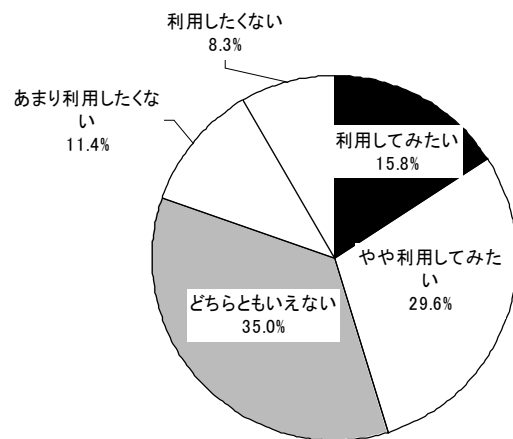
いずれの防犯対策やサービスについても半数近くの方が利用してみたいと回答していますが、「どちらともいえない」と回答した方も約 3 割ずつ存在しており、ハイテク技術を利用した防犯グッズやサービスについては使用実態や今後の普及を見守る姿勢が窺えます。

Q. 以下の防犯対策について、あなたはお子様への安全対策として利用してみたいと思いますか？(単一回答)  
 全員(n=1038)

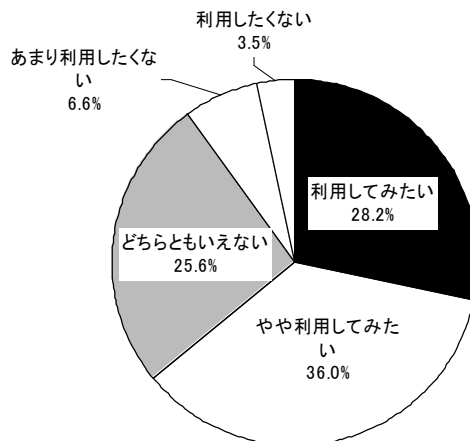
GPS機能付き携帯電話



GPS機能付きランドセル(かばん)



ICタグを使って子供の登下校情報などを保護者の携帯電話などにメールで配信するサービス



## 【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、独自開発した自動インターネットリサーチシステム【AIRs】(Automatic Internet Research System :エアーズ) を活用し、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声をインターネットで瞬時に集めるネットリサーチのリーディングカンパニーです。国内 37 万人を超える消費者モニタ会員を対象に低価格・迅速なネットリサーチを提供する「QuickMill」を主力サービスに、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なマーケティングリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル  
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
URL ■www.macromill.com  
設立 ■2000 年 1 月 31 日  
資本金 ■8 億 7,580 万円 ※2005 年 6 月末現在  
上場取引所 ■東証一部 ( 証券コード : 3730 )  
代表者 ■代表取締役社長 COO 福羽 泰紀  
従業員数 ■136 名 (うち、契約社員 6 名) ※2005 年 11 月末現在  
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査(ネットリサーチ)

### —本件に関するお問い合わせ先—

株式会社マクロミル 広報担当 : 西沢・三井  
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701  
E-mail:press@macromill.com